

平市會の大物が

卷之三

平市會の大物 何故落選 惜
先に平市長選に落選した前市會議長萩原氏が市會出馬を斷念したことは氏の立場としてその心情を察するに余りありとて止むを得ぬが、市の長老蓮沼龍輔氏並に野崎満藏氏の落選は以外の感がある、又新進の手腕家と

し
ま
れ
る
人
々

の支援に心を許した點
四の一つになつてゐる
河はさすがに色町とて
ならぬと評されていた
澤氏と同一の徹をふん
のどみられる。
野澤氏に於ては萩原氏
波したことも一つのた
にはなつたが、子息が
山特殊物件に關係のあ
ことが同氏の行爲の如
解された點もある、こ
については當局と協力

原田が江名町民の爲めに努力解決に當つた事は關係者一同よく知る所とて大いに同様に應れ等の舊政治家に對する一般民の心が薄らいで來たことは大きな原因の一つとも云へる。

平署にみる

民主化と明朗化

のタライ廻し、とした點署内隨一の親しる。絶対に歸宅を安い人物として市民の好評。行政と繰返しを受けている、若手では新有名となり東妻、熊谷兩君も評判がよい。者だけは鬼門と加ふるに花の如き婦警さん、民主下の今この處役所の民主化では平素善せられた、

たが最後平署は昔物語りと話が出来ないと善せられた、



總選舉により全國的に一躍進出した社會黨も常磐地方特に平地區に於ては驚く程の不振であつた点、他を批判するまでに我等黨員は先づ内部的批判を嚴に行ふ必要があると思ふ

知事選舉に現はれた八百板正氏の票數、市長選舉に於ける大井川幸隆氏の得票、縣議戰の大内近雄氏の得票、市議選出に大井川ミチ女史の票數、大井川氏の言を借りて言へば平市民六割が勤勞大衆であると、然らば此の大多數の投票は何故に他黨に吸收されてしまつたか

八百板氏の塙合同氏を未知の人が多かつた事と石原知事の名が之に反して縣民に大井川氏の場合は長年の政治運動にもかゝわらず同氏大員又は組合大衆のつながりが薄く、寧ろかけ離れていた点及び過去の人格的が欠如と獨善的行爲が今度のい得票に影響したと評されている。ミチ女史の塙合は誰も一人の女性候補として大いに松期待されていたが、一般市民の理解が低調であつたことは及び夫君の場合の影響もあり、夫君の應援に全力を捧げ、市會の運動が手薄であつたことに起因している。

内氏は今まで平地區會黨が獲得した最高位しているが、これは同日までの人はなりし人いに力あつた事は勿るが、勞働組合及び大衆等との直接な結びがあり一般から期待される人物である點氏の事がすべてを物語つてよいはれている。

買つまだあこがれ的なみれんが残つていたことが大きな原因となり、保守黨への同情を示す氏の投票となつて現はれたのでこのことは他の社會黨候補にも的てはまるることは勿論である。

勤勞結論的に單的に言へば常磐つき地區社會黨、ことに平地區の社會黨の改組が必要であり、勤勞大衆と直接つながりのある方法と人物を選ぶべきは速急に改め、組織を黨内部の批判を嚴にし改むべきは速急に改め、組織を新たにし再出發すべき秋が來ていると思ふ

惜敗
の大
れな
ま
た

昔は留置入のタライ廻し、とした點署内隨一の親しる
日限が來ても絶對に歸宅を安い人物として市民の好評
許さず行政、行政と繰返しを受けていた、若手では新
留置するので有名となり東妻、熊谷兩君も評判がよい
京人でも平署だけは鬼門と加ふるに花の如き婦警さん
されていたが、民主下の今この處役所の民主化では平
日あの古い手、あの手この署が一番だとの呼び聲
手も完全に改善せられた、一度にらまれたが最後平署
管内では生活が出來ないとされたのも今は昔物語りと
なつた、名署長のもと司法主任、經濟主任等の理解あ
る取調べと取締りにより平市も明朗化せられたことは
何よりである、司法部の河井部長は朝鮮歸へりの頭も
選舉運動にボスの活躍目に余るものあり、追放の

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三



鳳旗